

1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあい水稻用エムコート S 1 2 0 H 入り複合 2 0 7 7
別名 ; エムコート 2 0 7 7
会社名 ; 全国農業協同組合連合会
担当部署 ; 耕種資材部
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 ; 03-6271-8285
F A X 番号 ; 03-5218-2536
e-mail ; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

製品の GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	金属腐食性物質	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器)
	誤えん有害性	分類できない

製品安全データシート

整理番号: jcam-5050
改定日: 2021 年 9 月 8 日

環境に対する有害性 水生環境有害性 短期 (急性) 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性) 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

長期にわたる、または反復ばく露による臓器への障害のおそれ (呼吸器)

注意書き

【安全対策】

粉じんを吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。

【応急措置】

気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

【保管】

容器を密閉して保管すること。
可燃物から離して保管すること。

【廃棄】

内容物・容器を国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 指定配合肥料

主成分	含有量 (%)	化学式	官庁公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
硫酸アンモニウム	20-40	$(\text{NH}_4)_2\text{SO}_4$	1-400	7783-20-2
リン酸二アンモニウム	10-30	$(\text{NH}_4)_2\text{HPO}_4$	1-379	7783-28-0
リン酸二水素カルシウム水和物	5 以下	$\text{Ca}(\text{H}_2\text{PO}_4)_2 \cdot 2(\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O})$	1-183	7758-23-8
塩化カリウム	10-30	KCl	1-228	7447-40-7
尿素	20-40	$\text{CO}(\text{NH}_2)_2$	2-1732	57-13-6
樹脂組成物*	10 以下	—	—	—
硫酸マグネシウム	10 以下	$\text{MgSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$	1-467	10034-99-8
酸化マグネシウム	5 以下	MgO	1-465	1309-48-4
ベントナイト	5 以下	$\text{Al}_2\text{O}_3 \cdot 4(\text{SiO}_2) \cdot \text{H}_2\text{O}$	—	1302-78-9

製品安全データシート

整理番号：jcam-5050
改定日：2021年9月8日

シリカヒューム	10 以下	SiO ₂	—	69012-64-2
---------	-------	------------------	---	------------

*樹脂組成物：ポリオレフィン系樹脂：ポリエチレン等

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
なし

4 応急措置

吸入した場合	分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水で洗い流す。
眼に入った場合	1. 直ちに多量の清水で洗眼する。 2. 必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

適切な消火剤	多量の水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	加熱されると有害ガス（アンモニアガス等）を発生する。
特有の消火方法	本製品は不燃性であるが、加熱されると有害ガスを発生するので、保管場所を移動する。 移動が困難な時は、多量の水を注水する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。
環境に対する注意事項	排水溝へ流さない。
封じ込め及び浄化方法及び機材	掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

発散した粉じんを吸い込まないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。

接触回避

強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。

安全取扱注意事項

1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。
2. 容器は破損につながらないよう丁寧に取り扱う。

保管

安全な保管条件

1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。
2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。
3. 可燃性物質との近接は避ける。

安全な容器包装材料

ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。

管理濃度

設定なし。

許容濃度

日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。

日本産業衛生学会勧告値（2020 年）第 3 種粉塵

吸入性粉塵 2 mg/m³

総粉塵 8 mg/m³

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク

手の保護具

ゴム手袋

目の保護具

ゴーグル型眼鏡

皮膚・身体の保護具

長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

固体

色

灰白色

臭い

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

pH

データなし

溶解度

溶解性（水）

易溶

蒸気圧

データなし

密度

データなし

粒子特性

粒径範囲 1~4mm

その他のデータ

かさ比重 約 1.0

1 0 安定性及び反応性

反応性	データなし。
化学的安定性	加熱するとアンモニアガス等の有害ガスを発生する。
危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	高温、多湿
混触危険物質	可燃性物質
危険有害な分解生成物	アンモニアガス、窒素酸化物等

1 1 有害性情報

急性毒性（経口）	区分に該当しない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 ＜リン酸二アンモニウム＞ ラット LD50 値 : 6,500g/kg ＜塩化カリウム＞ ラット LD50 値 : 2,600mg/kg (IPCS 1992) ＜硫酸アンモニウム＞ ラット LD50 値 : 4,250g/kg (SIDS 2004) ＜尿素＞ ラット LD50 値 : 14,300mg/kg (SIDS) 以上のデータに基づき区分に該当しないとした。
----------	---

急性毒性（経皮）	分類できない データなし
----------	-------------------

急性毒性（吸入）	分類できない データなし
----------	-------------------

皮膚腐食性/刺激性	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 ＜尿素＞ ヒトの試験では 7.5% で Slight irritation、30% で moderate との報告がある (48 時間)。 ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
-----------	--

眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 ＜尿素＞ ICSC では眼に対し発赤と記載されている。
----------------------	---

	ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B. 8 の判定基準 (可逆的な眼への影響に関する区分) を満たす証拠がなかった ため、分類できないとした。	
呼吸器感受性	分類できない	データなし
皮膚感受性	分類できない	データなし
生殖細胞変異原性	分類できない	データなし
発がん性	分類できない	データなし
生殖毒性	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <シリカヒューム> 本物質は気道刺激性があるとの報告 (ACGIH (7th, 2001)、 ECETOC JACC (2006)) から、区分 3 (気道刺激性) とした。 構成成分が区分 3 であり、成分濃度が 10%未満であることから区 分に該当しないとした。	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器) 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <シリカヒューム> ヒトにおいて、慢性あるいは反復の吸入ばく露により珪肺症と 同様なレントゲン所見を伴った金属ヒューム熱のような回帰性 熱を起こす。しかし、肺の変化は自然に回復することが報告され ている (ACGIH (7th, 2001))。 実験動物において、ラット、モルモット、サルに 15 mg/m ³ (0.015 mg/L) を 12~18 ヶ月間吸入ばく露した試験で、いずれの動物種 においても肺の単核細胞の集合体の増加、細網線 維がみられ、さらにサルでは膠原線維がみられている (DFGOT vol. 2 (1991))。以上のようにヒトにおいて呼吸器への影響が みられ、また、実験動物、特にサルにおいて区分 1 の 範囲で肺に膠原線維がみられている。したがって、区分 1 (呼吸 器) とした。 構成成分が区分 1 であり、成分濃度が 10%未満であることから区 分 2 (呼吸器) とした。	
誤えん有害性	分類できない	データなし

1 2 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	分類できない データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは 最寄りの JA にお問い合わせ下さい。
オゾン層への有害性	データなし

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

この製品はHMEに該当する。

1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない（不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する）。

1 4 輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	下記の法令に基づく規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、港則法
輸送の特定の安全 対策及び条件	1. 雨水等による水濡れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1 5 適用法令

肥料の品質の確保 等に関する法律	指定配合肥料
消防法	該当しない
労働安全衛生法 粉じん則	粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。 粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。

16 その他の情報

- 1) 本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の取扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3) 当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4) 本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。
 - ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」のGHS対応モデルSDS
 - ・当社原料メーカーから入手した原料SDS
 - ・JIS Z 7252：2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
 - ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本SDSは、下記の情報を元に作成しました。

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ；ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ；生産管理本部
住所 ；東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ；03-5297-8904
FAX番号 ；03-5297-8908
緊急連絡先 ；黒崎工場
電話番号 ；093-643-2375